

統合分野

科目名	在宅看護概論			担当者	木村 久子		
履修学年	1年次	単位数	1単位	時間数	15時間	実務経験の有無	有
科目目的	地域で生活しながら療養する人々と家族が置かれている状況や抱える問題を理解し、在宅療養生活を支援するための看護の役割および社会資源の活用、関係職種との関連の必要性について学ぶ。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 在宅看護の概念を説明することができる。 2. 在宅療養者と家族の支援を説明することができる。 3. 在宅療養を支える看護を説明することができる。 4. 在宅ケアを支える制度と社会資源について説明することができる。 						

授業計画

回	時間	授業内容	授業方法
1	2	在宅看護の概念、特徴・役割や機能基本理念、倫理的概念、社会的背景	講義
2	2	在宅療養者と家族の支援、在宅看護の対象者、在宅療養者の成立要件、家族看護	講義・演習
3	2		
4	2	ミニテスト 在宅療養を支える訪問看護	講義
5	2	訪問看護ステーション開設 GW	演習
6	2	訪問看護ステーション開設 GW／発表	演習
7	2	ミニテスト 地域医療を支える制度と社会資源 社会資源 医療保険制度 後期高齢者医療制度 介護保険制度 生活保護制度 在宅における各種制度	講義
8	2		

教科書・参考図書	「地域療養を支えるケア」メディカ出版
成績評価方法	試験80%、ミニテスト10%、演習10%積極的態度も含む
履修上の注意点	事前に教科書を読んでおく。

その他 この科目は、実務経験のある教員による科目である。
17年間病院にて看護師として勤務あり

統合分野

科目名	医療安全			担当者	木村 久子		
履修学年	1年次	単位数	1単位	時間数	30時間	実務経験の有無	有
科目目的	看護・医療事故の基本的知識を学び、安全の重要性を理解する。事故発生メカニズムを学び医療事故を防止するための医療安全の行動がとれる基礎的能力を身につける。医療現場における倫理的判断の必要性を理解する。						
到達目標	1. 看護・医療事故の基礎的知識を説明することができる。 2. 医療事故を防止するための医療安全の行動がとれる基礎的能力を身につけることができる。 3. 医療現場における倫理的判断の必要性をわかる。						

授業計画

回	時間	授業内容	授業方法
1	4	医療安全と看護の理念、医療安全の重要性、看護職の法的規定と医療安全	講義
2			
3	4	ミニテスト 医療安全への取り組みと医療の質の評価	講義
4			
5	6	ミニテスト 医療事故発生メカニズムとリスクマネジメント、事故の発生メカニズム、事故分析、事故対策	講義・演習
6			
7			
8	10	ミニテスト 看護における医療事故と安全対策 看護業務と自己発生要因 医療事故の種類:その分析	講義・演習
9			
10			
11			
12			
13	2	ミニテスト 専門職としての医療事故について考える 医療事故後の対応	講義
14	4	ミニテスト 看護学生の実習と安全 実習中の事故に関する法的責任 事故への備え 実習中の事故を予防する方法 看護技術のリスクと安全 実習における安全への対応	講義
15			

教科書・参考図書	「ナーシング・グラフィカ 医療安全」メディカ出版
成績評価方法	試験70%、ミニテスト20%、演習10%
履修上の注意点	臨地実習で実践できるように学ぶ。

その他 この科目は、実務経験のある教員による科目である。
17年間病院にて看護師として勤務あり